

策命文

すめらみことのおほみことにおはせ

にのべたまはくとのぶる

天皇乃大命尔坐世正五位下太田持資乃墓前尔宣給波久止宣留

なんぢみこみだれたるよに

うまれいでてなほひさしくただしきころをもつてそのぬしとしてつかふるを

汝命亂禮多留代尔生出テ直久正志伎心乎以テ其主止志テ仕布留人

あなあなひたすけ

をたひらげくあらしめむとはかりちてころざしとげざりしかど

阿那々比輔氣関東乃國々乎平良氣久在良志米牟止計知テ志遂左利志加抒

いさをはたたへつべし

ころ

みこが

ゑらびさだめてきつきかためし

其勤勞波稱倍都倍志又康正乃頃汝命賀美地止擇定米テ築伎固米志

しろとりでのいましおほみやどころとなりぬる江にしをほしめしそのいさほをほめたまふとしてこたびとくに

城砦乃今志大宮所止成奴留縁故乎思保志食志其功績乎褒給布止爲テ今度特尔

をおくらせたまひ

をさづけたまふこれをもて

従三位乎贈良世給比位記乎授賜布是乎以テ神奈川縣知事正四位勲二等

をさしつかはしてかくのこときのをのべたまはくとのぶる

有吉忠一乎差遣志テ如斯乃状乎宣給波久止宣留

大正七年十二月二十三日